

いわて農業農村活性化推進ビジョン

～多様なスタイルでいきいきと暮らせる中山間地域の実現に向けて～

平成 28 年 2 月

岩手県農林水産部

目 次

1	いわて農業農村活性化推進ビジョン策定の趣旨	1
2	本県における中山間地域の現状と課題	1
3	先進的な取組事例から得られる地域活性化への取組のポイントと推進方向	2
4	10年後を見据えた中山間地域活性化の基本目標（めざす姿）	3
5	地域活性化に向けた3つのポイントと10の推進項目	4
6	推進方法	9
7	先進地区の取組事例	10

1 いわて農業農村活性化推進ビジョン策定の趣旨

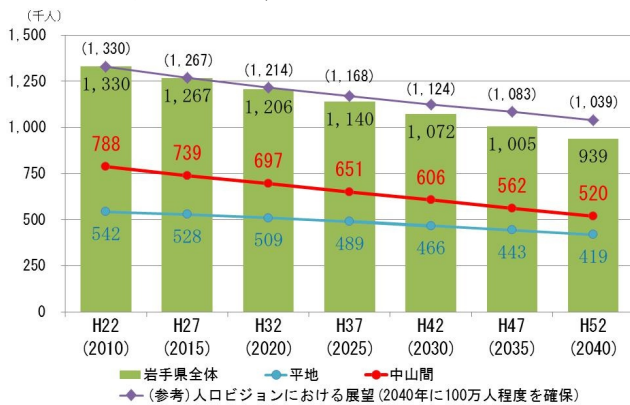
本県の中山間地域は、県土の8割を占め、農業生産はもとより、県土の保全、自然環境の維持、地域に根ざした伝統文化の継承などの多面的機能を有しており、農業が地域社会そのものを支えている実態にあります。しかし、平地地域に比べ人口減少の度合いが大きく、農業者の高齢化も進んでおり、今後、急激に地域活力が低下することが懸念されます。

このため、県内外の先進的な取組事例等から得られる活性化への取組のポイントを整理し、地域経済を支える農業を核として、地域住民が多様なスタイルでいきいきと暮らし、移住・定住志向者にも魅力的な中山間地域の実現に向けた推進方向を示すとともに、関連する施策を総合的に取りまとめたものです。

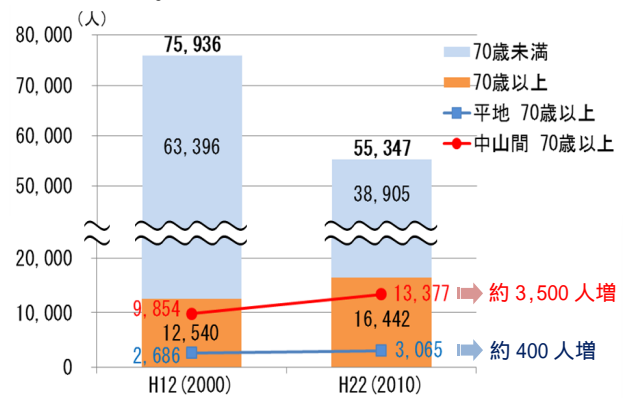
2 本県における中山間地域の現状と課題

[現状]

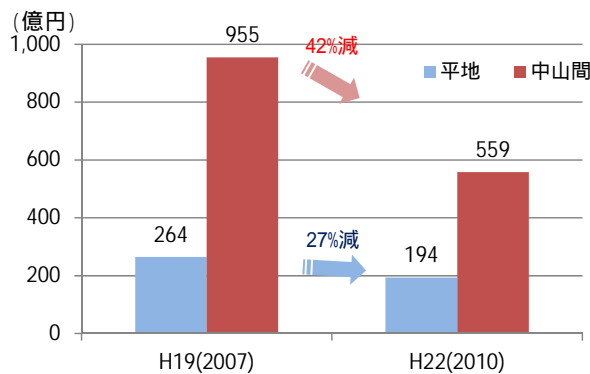
- (1) 平地地域に比べ、人口減少の度合いが大きく、農業者の高齢化も進んでおり、集落機能が低下し、農地等の維持や生産活動の継続が困難になることが懸念されます。
- (2) 農業生産額が年々減少し、農地の8割を占め、農業者の8割が居住する中山間地域における農家所得が減少しています。
- (3) 担い手へ農地利用集積を進める一方、出し手農家は、農業を通じた地域との関わりが希薄になり、人口流出に繋がることが懸念されます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所 及び 岩手県
【図1】岩手県の将来推計人口



出典：農林業センサス
【図2】岩手県の農業経営者数



出典：岩手県の市町村民所得
【図3】岩手県の第1次産業純生産額

[課題]

- (1) 農業者の減少、高齢化が進んでいることから、次世代を担う新規就農者の確保や、地域活動をけん引するリーダーの育成が必要です。
- (2) 農業生産額が減少していることから、需要に即した産地づくりや6次産業化の取組により、農業者の所得向上と雇用創出等を通じた地域活性化を進める必要があります。
- (3) 農山漁村の人口の社会減を緩和するため、移住・定住に向けた都市農村交流の取組を進めていく必要があります。

3 先進的な取組事例から得られる地域活性化への取組のポイントと推進方向

県内外における先進的な取組事例を調査したところ、これらの地域においては、地域資源を活かした農産物の生産、加工・販売や交流活動等の特色ある取組が行われており、優れたリーダーや組織の下で、地域の将来像（地域ビジョン）が共有され、地域のまとまりをもって、実現に至っている例が多く見られました。

【先進事例調査の概要】

1 先進事例地区の主な取組内容

地域資源を活かした農産物の生産、加工・販売の取組

- ・ 女性、若者、高齢者等の様々なアイデアや技術を活かした地域特産品の生産・製造
(例) 地域特産米（黒岩めでた米、江刺清流米、門崎メダカ米）、西わらび、トマト加工品、手作り団子、天然酵母パン、米粉パン、雑穀クッキー、山ぶどうワイン等
- ・ 女性や高齢者などを中心としたグループによる、農家レストランや直売施設の運営
- ・ 首都圏等に住む地元出身者への農産物の直送、首都圏（いわて銀河プラザ等）での販売
- 地域間・世代間の積極的な交流促進
- ・ NPO法人によるグリーン・ツーリズム活動のコーディネート
- ・ 都市住民が参加するお祭りの開催や農業体験の実施
- ・ 地域の小学校との田んぼの生き物調査の実施

農地・農業用水等の保全管理の実施

- ・ 農家と非農家で構成する集落組織による、農地・農業用水等の草刈り、清掃や補修等の保全管理活動の実施
- ・ 津波被災農地等のガレキ撤去や水路復旧
- 地域活性化の取組を行うための組織の育成
- ・ 基盤整備を契機とした農業法人や集落営農組織の設立
- ・ 農産物の加工・販売などを行う女性グループの設立
- ・ 複数集落の連携（加工・販売施設の運営、大型機械の利用）

2 事例地区における活性化のポイント

地域の取組を支える体制の存在

- ・ 合意形成や事務手続を先導する地域リーダーや組織の存在
- ・ 将来の話合いや伝統行事などに、農家と非農家、若者と高齢者など、多様な住民が積極的に参加する地域のまとまり

地域資源を活かした農産物のブランド化や多様な人材が活躍する地域ならではの取組

- ・ 地域資源を活かした産地化、ブランド化
- ・ 地域の農産物を活用した特産品開発、製造や販売等における若者や女性の活躍
- ・ 豊富な経験、熟練した技術を有する高齢者の活躍
- ・ 都市と農村の交流や、周辺地域との連携など、他地域を巻き込んだ取組
- ・ 先進事例や補助事業等の地域による積極的な情報収集

こうした取組を参考に、本県の農業・農村における地域活性化への取組のポイントと推進方向を整理しました。

(1) 中山間地域を支えるリーダーや組織など“ひと”の活躍

地域ビジョン の作成と地域をけん引する人材の育成
地域ビジョンを実践する組織体制の整備や広域連携
多様な農業者による持続的な農業の実現
地域独自の食文化や農業生産・加工技術を伝承する後継者の育成

(2) 地域の伝統や豊かな自然を活かした魅力ある農業・農村づくり

変化に富んだ気候や立地条件を活かした農林産物の生産とブランド化
地域の農林産物の高付加価値化と販売先の確保
美しい田園風景や自然環境の維持・保全

(3) 豊かな地域資源を活かした都市農村交流の拡大と移住・定住の促進

地域資源を活かした農業体験メニュー等の情報発信
農業体験や教育旅行等の受入れ態勢の整備
U・Iターンなど移住・定住の促進

地域ビジョン：集落（又は複数集落や昭和合併前の旧市町村）単位で、地域住民が話し合いにより作成する、農業を核とした地域のめざす姿とその実現に向けた取組等の計画のこと。

4 10年後を見据えた中山間地域活性化の基本目標（めざす姿）

『多様なスタイルでいきいきと暮らせる中山間地域の実現』

認定農業者など地域農業の担い手のほか、林業や水産業、製造業、サービス業などと兼業する農業者（半農半X）や、生きがい農業に従事する高齢者など、多様な農業者が参画しながら、いわての中山間地域ならではのストーリー性のある農産物の生産や加工品の製造・販売、農村体験や復興支援などの「つながり」による地域間や世代間の交流が行われるなど、中山間地域の人々が多様なスタイルでいきいきと暮らすことができる農村社会の実現をめざすもの。

5 地域活性化に向けた3つのポイントと10の推進項目

(1) リーダーや組織など“ひと”の活躍に向けて

【推進項目1】

地域の特性や資源を活かした地域ビジョン作成や、ビジョンを実現するための活動をけん引する人材の育成を支援します。

【具体的な取組】

住民が主体となった地域ビジョン作成

地域の合意形成に向けたワークショップの開催を支援

地域活性化のリーダー育成や地域住民の意識改革に向けた先進地視察、セミナーへの参加を支援

女性が描く夢やアイデアの実現に向けたプラン作成

若手女性や農業女子グループ等が描く農村活性化のアイデアについて、専門家等からアドバイスを受けるなどにより、実現に向けた取組を支援

地域資源等を地域ぐるみで活用するための人材育成

地域活性化に向けた住民意向調査、体制づくりのためのワークショップ、実施計画づくりや技術研修会の開催を支援

地域の活性化に関する指導・助言等を行う人材の育成に向けた研修会の参加を支援

6次産業化を指導・実践する人材の育成に向けた研修会を開催

[主な事業] (: H28 新規)

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ むら・もり・うみ女子ネットワーク活動等応援事業
- ・ いわて6次産業化ネットワーク活動推進事業
- ・ ふるさとづくり推進事業
- ・ ふるさと水と土保全対策事業
- ・ 農山漁村振興交付金

【推進項目2】

地域ビジョンを実践する体制の整備や広域連携の取組を支援します。

【具体的な取組】

地域ビジョンを実践する体制の整備

地域活性化に向けた住民意向調査、体制づくりのための地域住民によるワークショップ、地域資源活用に向けた推進体制や組織の構築を支援

推進項目3～10の取組を進めるに当たって、必要となる体制(集落営農組織、若手や女性農業者のグループ等)の構築を支援

広域連携の取組支援

単一の集落等では取組が困難な場合は、複数の集落等による協働活動を促進（農作業受委託や鳥獣害防止活動の広域化等）

農産物の庭先集荷や農業資材購入を共同で行う仕組みの構築を支援

[主な事業]（：H28 新規）

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ むら・もり・うみ女子ネットワーク活動等応援事業
- ・ いわて地域ぐるみ6次産業化支援事業
- ・ 農山漁村振興交付金
- ・ 中山間地域等直接支払事業
- ・ 農地維持支払交付金
- ・ 資源向上支払事業
- ・ 農業経営力向上支援事業

【推進項目3】

半農半 など多様な農業者による持続的な農業の実現と、地域が主体となった就農支援体制の整備を支援します。

【具体的な取組】

多様な農業者による農業生産活動の支援

他産業と兼業する農業者（半農半X）や生きがい農業に従事する高齢者などの営農継続に向けた、集落ぐるみで行う営農活動を支援

多様な農業者の営農継続等を図るため、農作業受委託等による耕作放棄の防止のほか、地域の実状に応じた区画拡大や暗渠排水などの簡易な基盤整備を支援

市町村等と連携した就農受入から定着までの継続的な支援

就農志向者の受入から定着までの支援内容を明確にした、地域協議会が作成するアクションプランの実践を支援

若者・女性や新規学卒者、他産業からのU・Iターン者など県内外から多様な新規就農者を確保するため、ポータルサイト等を通じて、就農や暮らしに関する情報を発信するとともに、農業法人等における農業体験や雇用就農の受け皿づくりを支援

研修段階から就農初期段階の所得を確保するため、国の青年就農給付金制度を活用するとともに、就農から経営自立までの発展段階に応じ、生産技術・経営ノウハウの習得や機械・施設等の整備、青年農業者企業家塾等による新規就農者の経営力向上等の取組を支援

[主な事業]（：H28 新規）

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ 活力ある中山間地域基盤整備事業
- ・ 新規就農総合対策事業
- ・ いわてニューファーマー支援事業
- ・ 中山間地域等直接支払事業

【推進項目 4】

地域独自の食文化や農業生産・加工技術を伝承する後継者の育成と、次世代を担う子どもたちと熟練技術を持つ高齢者による世代間交流の取組を支援します。

【具体的な取組】

岩手ならではの食文化の伝承・発信活動の促進

岩手県食の匠の認定や食の匠の情報交換会・研修会を開催

食文化伝承を担う人材の確保

郷土料理の伝承と情報発信等を食の匠が直接指導し、後継者の育成を支援

次世代を担う子供たちの農業に対する意識の啓発

地域住民が主体となった世代間交流による農業体験等の取組を支援

[主な事業] (: H28 新規)

- ・ むら・もり・うみ女子ネットワーク活動等応援事業
- ・ 農山漁村いきいきチャレンジ支援事業
- ・ 中山間地域等直接支払事業

(2) 地域の伝統や豊かな自然を活かした魅力ある農業・農村づくりに向けて

【推進項目 5】

中山間地域ならではの気象や土壌条件を活かした農林産物（山菜や地野菜、雑穀など）の生産、きれいな水や豊かな自然を売りにした米の生産等によるブランド化を促進します。

【具体的な取組】

中山間地域ならではの立地条件等を活かした農林産物の生産

多様な農業者が参画した産地づくりを支援

産地直売所向けの少量多品目生産など、実需者ニーズに基づく生産・販売方式の導入を支援

地域のブランド化に向けた情報発信や販売促進活動

県のポータルサイト等を活用した情報発信や、首都圏等でのフェア開催などを通じて、農林産物の認知度向上とブランド化を支援

[主な事業] (: H28 新規)

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ いわて地域ぐるみ6次産業化支援事業
- ・ 園芸雑穀新品種協働開発事業

【推進項目 6】

若者や女性のアイデアや地域の農林産物を活かした商品、高齢者の経験や熟練技術などを活かした食文化を今に伝えるそばやもちなど、その地域ならではの加工品の製造を支援します。

また、産地直売所等により、生産者自らが農林産物を対面販売することで、安全・安心な農林産物を求めている顧客の確保を支援します。

【具体的な取組】

特色ある地域資源の付加価値向上等を図る取組の試行・実践

県・市町村・関係団体の協働により、地域ぐるみで6次産業化を推進するため、地域の生産者や商工業者等の一体的な動きを興し、農林産物を活用した発信力のある特産品開発や料理メニューの提供を行うなど、多様な取組を支援

若手・女性グループなど、意欲ある生産者による6次産業化の取組拡大に向けて、生産者と商工・観光業者等の交流・商談機会を提供しながら、商品開発や販路開拓等を支援
産地直売所の誘客力・販売力の強化

産直と食材供給先とのマッチングや産直に併設するレストランの運営など多角的な取組を支援

加工・流通・販売等のための施設等の整備

地域資源を活用した加工品の製造・販売等のための施設整備を支援

[主な事業] (: H28 新規)

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ いわて地域ぐるみ6次産業化支援事業
- ・ いわて6次産業化ネットワーク活動推進事業
- ・ いわて地域農業マスタープラン実践支援事業
- ・ 農山漁村振興交付金

【推進項目 7】

潤いと安らぎのある田園風景や自然環境を守り、次世代へ継承していくため、農地や農業用水の適切な保安全管理を支援します。

【具体的な取組】

地域が共同で行う農地の草刈りや水路の泥上げ、農業用水路等の補修や農村環境保全活動の支援

地域が共同で行う農地の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の保安全管理活動を支援

水路、農道、ため池の軽微な補修など施設の長寿命化や農村環境の保全（植栽、ため池の外来種駆除等）などの活動を支援

中山間地域等における農業生産を維持する活動の支援

鳥獣害対策や耕作放棄の防止など、持続可能な生産活動を支援

[主な事業]

- ・ 農地維持支払交付金
- ・ 資源向上支払事業
- ・ 中山間地域等直接支払事業

(3) 都市農村交流人口の拡大と移住・定住の促進に向けて

【推進項目 8】

地域資源の再発見（農林産物、食文化、加工品、農村風景、伝統芸能等）地域資源を活かした農業体験やワーキングホリデー、田舎暮らし体験等について、ICT等を活用した情報発信を支援します。

【具体的な取組】

地域資源の賦存状況・利用形態の調査

地域資源の発掘や文献による資源調査、地域資源の管理・保全形態の調査等を支援

地域資源を活かした農業体験等の情報発信

県外誘致説明会でのPRや各グリーン・ツーリズム協議会等における情報発信を支援

[主な事業]（：H28 新規）

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ いわて都市農村共生・対流推進事業
- ・ 農山漁村振興交付金
- ・ ふるさとづくり推進事業

【推進項目 9】

農業体験や教育旅行、外国人旅行者等の受入れ態勢の構築を促進します。

【具体的な取組】

農業体験等の相談窓口の設置

各地域のグリーン・ツーリズム協議会等における農業体験等の相談窓口設置を支援

農家民宿の開業支援

農家民宿開業支援のためのサポーター派遣や研修会を開催

グリーン・ツーリズムのプロ人材の育成

実践団体の職員等を対象としたグリーン・ツーリズム実践塾を開催

[主な事業]（：H28 新規）

- ・ いわて農山漁村コミュニティ活性化支援事業
- ・ いわて都市農村共生・対流推進事業

【推進項目 10】

U・Iターンなど移住・定住を促進します。

【具体的な取組】

移住相談窓口の設置

首都圏において移住相談窓口を設置

首都圏における移住希望者等への情報発信

首都圏における移住イベント・相談会を開催

岩手暮らし体験ツアーを開催

[主な事業]

- ・ ふるさとづくり推進事業費

6 推進方法

地域活性化の取組は、集落の方々が主役となり、創意工夫を凝らしながら実践することが重要です。

しかしながら、人口減少や高齢化が著しい中山間地域では、様々な関係者が関与し、地域の方々の取組を支援する必要があると考えられることから、推進方法として行政の役割や関係団体等への期待を整理しました。

(1) 県の役割

地域の取組の段階に応じた支援を行うため、「5 地域活性化に向けた3つのポイントと10の推進項目」に掲載した各種事業により、人材育成や地域ビジョンの作成支援、所得向上や雇用創出に向けた地域活性化の取組支援を行うほか、県が設置する農村活性化地域ビジョン支援チーム等による人的支援を行います。

< 地域ビジョン作成段階 >

地域ビジョンの作成や取組の実践につながるきっかけづくり(中山間地域等直接支払制度の協定集落での話し合いやほ場整備事業の導入等)

地域ビジョン作成に向けた、専門家の派遣や先行事例の紹介

補助事業制度など支援策の紹介、提案

地域リーダー等の人材育成研修の実施

市町村を越えた広域的な課題解決の支援

< 地域ビジョンの実践・自立段階 >

地域ビジョン実現に向けた実践支援(具体的な取組を支援する補助制度の導入)

優良地区への表彰、県内外への成功事例の情報発信

(2) 市町村の役割

地域ビジョンの作成誘導、支援
地域ビジョン実現に向けた、集落等の取組の段階に応じた支援
地域ぐるみの取組に対する事業実施等を通じた支援
市町村内外での活性化の取組等の情報収集や発信

(3) 関係団体、企業、NPO、教育機関等への期待

取組の実践に向けた専門分野に関する支援（特産品開発、6次産業化、グリーン・ツーリズム等）
地域資源を活かした活性化の取組の実践
活動内容の情報収集や発信
社会貢献活動（CSR）としての農業体験、研修等の実施

(4) 都市住民の皆さまへの期待

農村地域への訪問、地域農産物の購入
農業・農村のもつ多面的機能への理解促進
地元では気づかない農村の魅力発見
地域のファンとしての情報の発信（SNS等）
農村地域への移住・定住
地域出身者の農業体験や郷土芸能、地域づくり活動等への参加
災害時等のボランティア活動

7 先進地区の取組事例

農家レストランの運営と農産物や加工品の出張販売で6次産業化を実現！

～^{もり}森のそば屋、^{くさ}みち草の驛（葛巻町）～

集落が一体となり景観形成や遊休農地の解消を行うなど世代間交流が活発化！

～^{かた}帷子資源保全協議会（八幡平市）～

14 集落が連携して、直売所と加工施設を運営し地域の所得が向上！

～^{さん}産直源休館（奥州市江刺区）～

地場産米のブランド化や首都圏向け直送便により所得向上と都市農村交流を両立！

～^{なる}鳴瀬振興組合（奥州市江刺区）～

加工用トマトの生産、トマトラーメン等の製造・販売により6次産業化を実現！

～^{のう}農事組合法人上小田代（奥州市江刺区）～

地場産米を活用した米粉パン等の製造・販売による6次産業化と地産地消を両立！

～^{のう}農事組合法人町井アグリフレンド・ファーム（花巻市東和町）～

地域の女性が農家レストランの運営や食文化の伝承を積極的に展開！

～あやおり夢を咲かせる女性の会（遠野市）～

一集落一農場構想の実現に向け、地区外出身者や女性など多様な人材が活躍！

～農事組合法人宮守川上流生産組合（遠野市宮守町）～

NPOと生産組合が連携し、ブランド米の生産・販売や直売所の運営が実現！

～特定非営利活動法人あすの黒岩を築く会（北上市）～

婦人会や教育振興会などと連携し、植栽活動や農業体験など世代間交流を実施！

～新町区農地・水環境保全会（西和賀町）～

めだか米やホタル米など、豊かな自然環境を活かした地場産米のブランド化を推進！

～門崎地区農地管理組合（一関市川崎町）～

女性が法人経営に参画し、米粉パン等の商品開発を行うなど経営の多角化を牽引！

～農事組合法人おくとま農産（一関市千厩町）～

被災農地のガレキ処理や水路復旧を地域自らが取り組み早期営農再開を実現！

～摂待水利組合農地と水の会（宮古市田老町）～

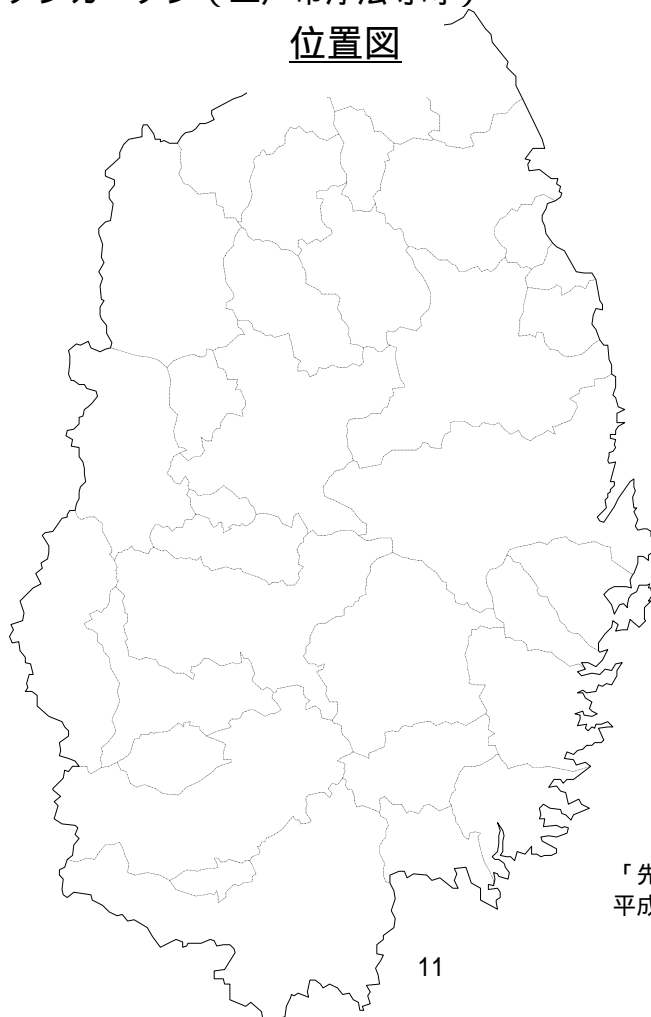
そばや団子など郷土食の実演指導を通じた伝承活動や都市農村交流の取組を実践！

～成谷自然食の会（久慈市山形町）～

郷土食などの加工品を直売所のほか首都圏の店舗などで積極的に販売！

～キッチンガーデン（二戸市浄法寺町）～

位置図



「先進地区の事例紹介」では、県農林水産部が平成27年7月に調査した地区のみを掲載。

もり や くさ えき
森のそば屋、みち草の驛(葛巻町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

6次産業化

伝統文化継承

ブランド化

1 取組の概要

地域を元気にしたいとの思いから、元役場職員の夫婦が空き家になっていた自宅を改装し、農家レストラン「森のそば屋」を開店。水車で地元産のそばを挽き手打ちで出す。開店当初から大繁盛で、そば屋で働きたいという人が増えたため、5年後に地元の野菜や加工品(おはぎ、田楽、そばもちなど)の販売所とレストランを併設する「みち草の驛」を開設。売上額の増に向け、盛岡近郊のスーパーに働きかけ、出張販売を行う。

地域の女性が森のそば屋に10名、みち草の驛に15名ほどがローテーションで勤務。そばの花見会などのイベントも行っている。

2 将来に向けて

後継者育成をしており、加工やそばの粉挽きなど技術継承も進めている。店の周辺を、きれいな紅葉が見られるようにしたいと思い、もみじを植えた。また、江戸時代に「南部牛追唄」の牛方が塩を運んだ「塩の道」野田街道の名残である一里塚が復元された。地域の歴史を紐解いて、景観を楽しみながら散歩できるような地域にしたい。

3 受賞歴等

- 平成21年度 食アメニティ・コンテスト 農村振興局長賞
- 平成20年 岩手県むら・もり・うみ女性アグリビジネス表彰 最優秀賞
- 平成13年度 農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰 農林水産大臣賞
- 平成9年 岩手県いきいき中山間賞、岩手県食の匠認定

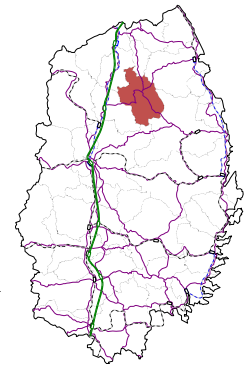


森のそば屋



出張販売車

〈岩手県葛巻町〉



かたびら しげん ほぜん きょうぎかい
帷子資源保全協議会(八幡平市)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

広域化・連携

世代間交流

1 取組の概要

公民館や集落営農組織と連携し、集落の非農家も含む約9割が水路補修や環境保全活動に参加。

高齢者が中心となって、集落各地に花壇を設置するなど、植栽活動を実施。

小学校と連携した生きもの調査や、遊休農地を利用したかぼちゃ栽培の農業体験を実施するほか、土手かぼちゃの栽培コンクールを実施するなど、景観形成や世代間交流促進に取り組む。

2 活性化のポイント

公民館や集落営農組織と一体となった活動により、集落のほとんどが参加することで不公平感をなくし、継続的な活動が実現。

景観形成に向けた花の植栽活動などは、子供会と老人会を交えての活動となっており、世代間交流が活発化することで会話の頻度が増加。

3 受賞歴等

- 平成25年度 岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

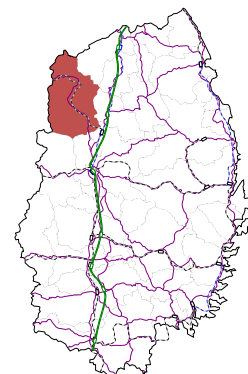


かぼちゃの収穫



老人会を交えた植栽活動

【岩手県八幡平市】



産直源休館(奥州市江刺区)

地域資源活用

多様な人材

広域化・連携

6次産業化

1 取組の概要

中山間地域等直接支払制度を活用し、14集落が連携して、直売所と加工施設を平成18年にオープン。

源義経がこの地に立ち寄ったという伝説にちなんで「源休館」と命名。

漬物、おにぎりを直売所に隣接する加工施設で製造。山菜や山野草がこの産直ならではの商品。

店舗は、冬期間を除く8か月間営業し、スタッフは交代制で対応。

出荷組合のメンバーは50人以上おり、高齢者も含め意欲的に活動している。



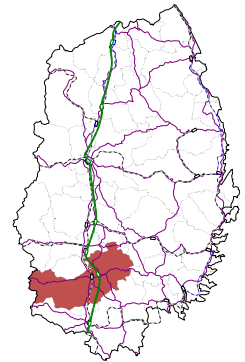
源休館

2 将来に向けて

この産直ならではの特産品となる加工品を増やしたい。

今の風景を将来まで残していきたい。多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度などにより、地域としてやっていかないと農地などの維持管理は継続していけない。

【岩手県奥州市】



3 受賞歴等

平成19年度 岩手県中山間地域モデル賞

鳴瀬振興組合(奥州市江刺区)

地域資源活用

ブランド化

都市農村交流

6次産業化

広域化・連携

1 取組の概要

中山間地域等直接支払制度の協定を1集落としていたが、取組内容充実と事務負担軽減のため、19集落(242戸)が統合して活動。

小規模協定では困難だった「米里産直」の開設や加工グループの結成などにより、加工品の製造・販売を実施。

首都圏在住の集落出身者に農産物を直送する「ふるさと宅急便」を開始するなど所得向上を実現。

さらには、この地域で生産される米の食味値が高いことを活かし「江刺清流米」として販売。

2 活性化のポイント

19集落が統合することで、事務負担が軽減したほか、活動内容が充実。

都市部の量販店への販売や餅つき実演等により、生産者と消費者の交流を積極的に実施。

「鳴瀬振興組合だより」を随時発行し、組合の運営状況を共有。

過疎化や高齢化による耕作放棄地の発生を防止するため、組合の農地サポート班を組織し、維持管理作業を実施。

3 受賞歴等

平成22年度 岩手県中山間地域モデル賞

平成26年度 いわて農林水産振興協議会長表彰 むらづくり賞

平成27年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞

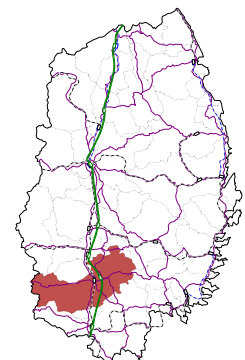


加工グループによる商品検討会



量販店での餅つき実演

【岩手県奥州市】



農事組合法人上小田代(奥州市江刺区)

【キーワード】

地域資源活用

6次産業化

ブランド化

1 取組の概要

平成11年からほ場整備導入に向けた話し合いを開始し、平成13年に集落営農組織を設立後、平成22年に法人化。耕作放棄を防ぐため、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活用し、農地等の維持管理を地域協働で行っている。

水稻と野菜(キュウリ、トマト等)を栽培しており、近年の米価下落により、野菜部門が米を上回る売上額を確保。

加工用トマトを活用したレストラン用ピューレやトマトラーメン等を製造するほか、軽トラ屋台でトマトスープやラーメンを販売。

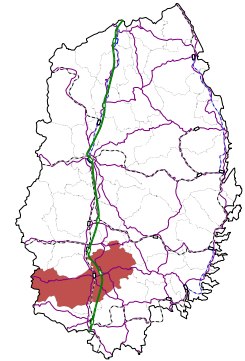


トマトの収穫



軽トラ屋台での販売

【岩手県奥州市】



2 将来に向けて

「子や孫に引き継ぐ集落づくり」をめざし、平成25年からほ場整備工事に着手。完了後は、新たに酒米の栽培に取組み、コンタミ防止のためミニライスセンターが必要。

さらに、加工品で開拓した販路を活かし米を直売し、将来的には、トマトレストランを開業したいとの夢を抱く。

3 受賞歴等

平成23年度 全農いわて 純情産地夢大賞

平成25年度 岩手県中山間地域モデル賞

農事組合法人町井アグリフレンド・ファーム(花巻市東和町)

【キーワード】

地域資源活用

6次産業化

世代間交流

多様な人材

都市農村交流

1 取組の概要

基盤整備を契機に集落営農による地域農業をめざし、平成27年に農事組合法人「町井アグリフレンド・ファーム」を設立。

地場産米を使用した米粉パンやピザ生地を製造し、産直施設や保育園等で販売するなど、6次産業化の取組により、農産物の高付加価値化を推進。

整備された水田を活用し、田植えや稲刈りなど農業体験学習を行う中高生を受け入れ、都市農村の交流を積極的に推進。

農村活性化施設を活用し、地域で収穫した米や大豆を使用し「パンづくり教室」や「味噌づくり教室」を開催するなど女性の活躍の場を提供し、地域活性化の取組を展開。

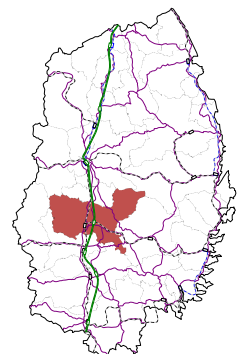


米粉パンづくり教室



中高生の農業体験学習

【岩手県花巻市】



2 将来に向けて

小中学校や病院の給食をはじめ、首都圏の飲食店へ販売するなど、加工部門を安定的に進めていきたい。

次世代を担う子どもたちの育成と地域のリーダー育成が必要。

地域の人たちが、ここで生まれて良かった、育てて良かったと思えるか、老若男女が安心して暮らせる地域にしたい。

3 受賞歴等

平成26年度 農業農村整備事業優良地区コンクール

農林水産大臣賞

ゆめ さ じよせい かい
あやおり夢を咲かせる女性の会(遠野市)

【キーワード】

伝統文化継承

6次産業化

多様な人材

世代間交流

都市農村交流

1 取組の概要

ほ場整備事業導入に当たり、女性の意見を反映させたいと地域で話し合い、全国初の「田んぼの中の公衆トイレ」設置が実現。これを契機に平成6年「あやおり夢を咲かせる女性の会」を結成。

平成10年に農家レストラン「夢咲き茶屋」を開店し、郷土料理の販売と併せ、地域の食文化を発信。平成24年には、2号店「結和」を開店。

また、平成24年に、地域の食文化や高齢者の暮らしの知恵を伝え残すため「あやおり食暦」を作成し、地域全戸に配布。

2 活性化のポイント

地域づくりに女性の意見を反映させたことから、女性の会自らが「夢を語る」「綾織らしい地域づくり」「次世代のために」「女性の生き方」の4つの目標を掲げ、積極的に活動を展開。

食文化の伝承のほか、小学生と共に裂き織を利用したタペストリー作成や、生ごみ処理の課題解決のためEM菌を活用したぼかしづくりなど、様々な地域活動に波及。

3 受賞歴等

平成17年度 女性のチャレンジ賞(内閣府) 特別部門賞

平成15年度 地域づくり表彰 全国地域づくり推進協議会会長賞

平成13年度 食アメニティ・コンテスト 農林水産大臣賞

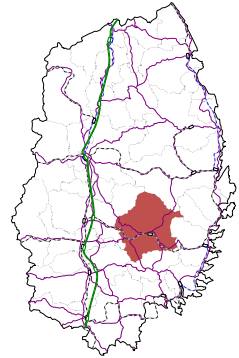


公衆トイレの管理作業



夢咲き茶屋 スタッフ

【岩手県遠野市】



のうじ くみあい ほうじん みやもりがわ じょうりゆう せいさんくみあい
農事組合法人宮守川上流生産組合
(遠野市宮守町)

【キーワード】

地域資源活用

6次産業化

多様な人材

広域化・連携

都市農村交流

1 取組の概要

ほ場整備導入を契機に、零細・自己完結型農業から脱却するため、3集落を統合し「一集落一農場」構想をまとめ、「宮守川上流生産組合」を設立。

組合設立後、水稻の作業受託や農業機械の共同利用、ブロックローテーションによる集団転作を実現。

また、地域の農産物を活用し、豆腐や味噌、ジュースやジャム、どぶろくなど、農産物加工所で製造。他地域からの受託製造も実施。

これらのほか、直売所の営業や、ブルーベリーやわらびの収穫体験農園の運営、耕畜連携による土づくりなどの取組を、各部会を立上げ組織体制を充実。

2 活性化のポイント

地域の農産物の製造・加工・販売が一貫して行われるほか、県内外の農産物の受託加工を行うなど、所得確保と雇用創出に大きく寄与。

法人のスタッフは、民間企業経験者や、食品加工の専門知識を持ったもの、地区外出身者など、女性も含め、多様な人材が活躍。

農業機械の共同利用を近隣集落で行うなど、広域連携に取り組む。

3 受賞歴等

平成23年度 農林水産祭(むらづくり部門) 天皇杯

平成17年度 土地改良事業地区営農推進功労者表彰 東北農政局長賞

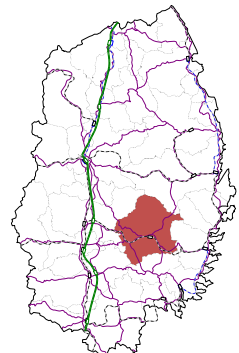


一集落一農場をめざす



農産物加工所

【岩手県遠野市】



とくてい ひえいり かつどうほうじん くろいわ きず かい
**特定非営利活動法人あすの黒岩を築く会
 (北上市)**

【キーワード】

地域資源活用

6次産業化

多様な人材

伝統文化継承

都市農村交流

ブランド化

1 取組の概要

地区内にある鎮守の森や、親水公園を景観資産と位置づけ、環境整備活動、水車まつりや水車小屋を利用したそば打ち体験事業等を開催。

また、修学旅行生の農業体験を受入れるなど、地域活性化に向けた活動を実施。

地域営農の担い手である黒岩第一地区生産組合では、郷土芸能「黒岩めでた舞」にちなんで命名した「黒岩めでた米」を生産し、完熟トマト、地域の米等で育てた黒岩豚等と併せて「くろいわ産地直売所」へ出荷。

農産加工施設「わくわく夢工房」では、地域で採れたワラビやフキ等を活用し、女性のアイデアを生かした加工品の製造・販売を行っている。



黒岩めでた米



くろいわ産地直売所

2 活性化のポイント

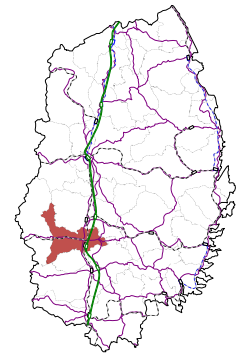
地域活性化の推進母体であるNPO法人と生産組合が連携することで、郷土芸能にちなんだブランド米として販売するなど、地域一体となった取組が実現。

くろいわ産地直売所とわくわく夢工房が併設しており、女性のアイデアを実現する場となっているほか、地区内外の人々に地域の農産物を供給する場となっている。

3 受賞歴等

平成26年度 土地改良事業地区営農推進功労者表彰 東北農政局長賞

【岩手県北上市】



しんまちく のうち みず かんきょう ほぜんかい
新町区農地・水環境保全会(西和賀町)

【キーワード】

地域資源活用

世代間交流

多様な人材

1 取組の概要

平成23年から農地・水環境保全管理支払制度を活用し、農地127ha、水路46km、農道22kmの保全管理を開始。遊休化が懸念された農地4haの草刈り等を地域活動として実施し、耕作放棄地の発生を防止。

地域の景観形成のため、公民館周辺に花壇を整備し、花苗を植栽したほか、地元婦人会と連携した清掃活動「クリーンアップ大作戦」を展開。

農業・農村の魅力を次世代に伝えるため、教育振興会と連携し、田植え、稲刈り、収穫祭等、年間を通した親子農業体験活動を実施し、世代間交流を図る。



花壇整備と植栽



親子農業体験

2 将来に向けて

後継者の育成に向け、保全管理活動には若い人の参加を奨励。

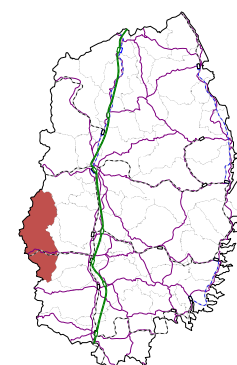
活動に対する意識向上のため、他地域への研修を積極的に実施。

農地の出し手、受け手が意見交換する場である、農地管理協議会において、それぞれの考えを伝え合っているほか、制度の理解醸成に向けた説明を併せて実施。

3 受賞歴等

平成26年度 岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

【岩手県西和賀町】



門崎地区農地管理組合(一関市川崎町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

6次産業化

都市農村交流

ブランド化

世代間交流

1 取組の概要

ほ場整備導入を契機に、平成19年に農地管理組合を設立し、地域の担い手である農事組合法人門崎ファームと連携して、豊かな自然環境の保全と持続的な地域農業の実現に取り組む。

「地域の宝」であるメダカが生息する水田で、地域の将来を担う小学生が参加する農作業体験や観察会を、岩手大学と連携し「門崎メダカの学校プロジェクト」として開催。

豊かな自然環境で育った、安全・安心な米を「門崎めだか米」としてブランド化し、ホテルやレストラン、首都圏の店舗等で贈呈用として販売。さらには、地元酒造会社と連携し、地域で収穫した酒米を活用した日本酒「風の旅人」、「玄会」を製造・販売。

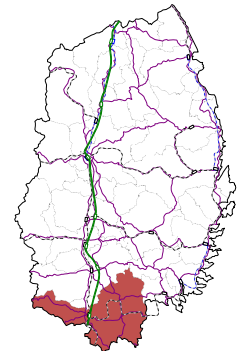


めだか米の農作業体験



門崎メダカの学校

【岩手県一関市】



2 活性化のポイント

ほ場整備導入時点から、岩手大学と連携し、メダカの保全活動、ビオトープの整備に取り組み、地域の高い意識により活動が継続。

「門崎めだか米」に加え、「門崎ホタル米」として売り出すなど、豊かな自然環境を前面に出し、ブランド化を拡大。

3 受賞歴等

平成25年度 岩手県元気なコミュニティ特選団体認定

農事組合法人おくたま農産(一関市千厩町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

6次産業化

都市農村交流

広域化・連携

世代間交流

1 取組の概要

ほ場整備導入を契機に、地区内7組織が1法人なり「おくたま農産」が設立。法人では、米の生産コスト低減に向け、大型機械の導入や飼料用米の直播栽培、ホバークラフトによる防除作業を実施。

水稻栽培の効率化・省力化により生じた余剰労働力を活用し、トマトや小菊の施設園芸に取り組むほか、枝豆、スイートコーン、寒締めはくさいなど土地利用型野菜を栽培。

地域の農産物加工工房「あらたま」では、女性スタッフによる味噌等の製造や米粉パンやケーキなどの商品開発に取り組む。また、製造した味噌や米麴、米粉を都市部のスーパーや老人ホームへ販売。

世代間・都市農村交流を図るため、地元小学生を対象とした農業体験学習や、「スイートコーンまつり」を開催。

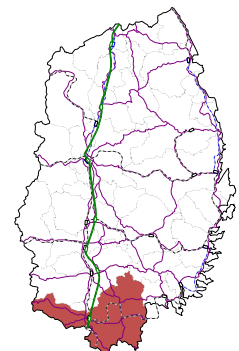


大型機械の導入



ハウスでのトマト栽培

【岩手県一関市】



2 活性化のポイント

法人には、女性理事が2名おり経営に参画。加工部門の運営に女性の感性やアイデアが活かされ、また、組織の雰囲気づくりに貢献し一体感を醸成。

野菜振興班を組織し、一定の取組を任せることで、組合員の意欲向上を図るほか、味噌の製造技術向上のため、研究機関等から指導を仰ぐなど、経営の改善向上に取り組む。

3 受賞歴等

平成25年度 全国優良経営体表彰 集落営農部門 農林水産大臣賞

摂待水利組合農地と水の会(宮古市田老町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

世代間交流

1 取組の概要

水路や農道の老朽化とともに、高齢化により休耕田が増えてきたことから、平成19年にこれらの施設を共同で保全管理する「摂待水利組合農地と水の会」を設立。

東日本大震災津波の発生時には、被災した農地のガレキ処理や水路の復旧を自らが取り組み、早期に営農を再開。

農地復旧と併せ行うほ場整備事業を導入し、担い手への農地集積と規模拡大を進めるとともに、水路の維持管理軽減や休耕田を無くすなど、農地や農業用施設の保全管理を実施。

小学校PTAと連携し、水田や水路に生息する生物調査を実施。

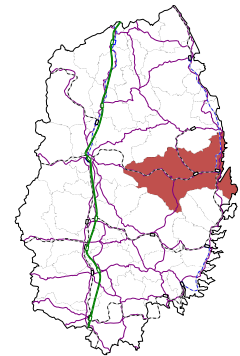


被災後の状況



水路の復旧状況

【岩手県宮古市】



2 活性化のポイント

地域のつながりが強く、駅の清掃や草刈りなど声をかければ、農家、非農家関係なく人が集まる。また、子供がいない世帯もPTA会費を支払っている。

漁業+農業の世帯は、農業での所得は少ないものの、漁業で一定の所得があることから、後継者がいるところが多い。

3 受賞歴等

平成24年度 岩手県農地・水・環境保全向上対策活動モデル賞

成谷自然食の会(久慈市山形町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

6次産業化

都市農村交流

伝統文化継承

世代間交流

1 取組の概要

山形町霜畑地区の成谷集落のそばづくりの仲間が、「出稼ぎの人に郷土食を食べさせたい」との思いから会を結成。

そばや団子を近所や親戚に配っていたが、宅配便を活用し販売を行うなど取組を拡大。

県内外で郷土食の実演指導を通じた伝承活動のほか、グリーン・ツーリズム、東京の消費者団体との交流、地元小中学校での伝承活動などの取組も行う。

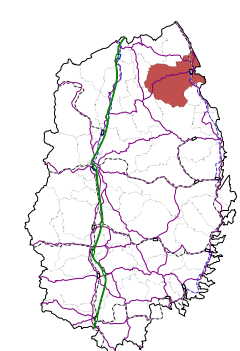


専門学校生への指導



手打ちそば

【岩手県久慈市】



2 将来に向けて

後継者の育成に向け、そばづくり技術の継承を実施中。

郷土食である、まめぶの受託生産が拡大している。

小学校でそばづくりの体験学習を行っているが、今後も継続して取り組んでいく。

3 受賞歴等

平成18年度 食アメニティ・コンテスト 農林水産大臣賞

平成13年度 女性グループの生活・生産活動に関する表彰 優良賞

平成8年 岩手県食の匠認定

キッチンガーデン(二戸市浄法寺町)

【キーワード】

地域資源活用

多様な人材

6次産業化

都市農村交流

伝統文化継承

世代間交流

1 取組の概要

生活改善グループのメンバーが中心となり、平成8年に「キッチンガーデン利用組合」を設立。地元の伝統食「きゃばもち」など加工品が評判を呼び客が増。雑穀入りクッキーやケーキも製造・販売。

地域外にも販路を拡大し、「キッチンおまかせ宅配」として販売するほか、首都圏の店舗やレストラン、給食センターなどにも出荷。

浄法寺町内の食の匠4名は、全てキッチンガーデンのメンバーであり、メンバー間で技術研修を重ね、食文化の伝承の場にもなっている。

また、メンバーには、グリーン・ツーリズム体験インストラクターもおり、ひつまみ、豆腐、わら細工の作り方を指導。



キッチンガーデン



豊富な品ぞろえ

2 将来に向けて

後継者の育成に向け、4Hクラブのメンバーに加わってもらうなど、若い農家を巻き込みたい。

ジェラートやプリンづくりなど、新しい商品づくりの夢を持っている。

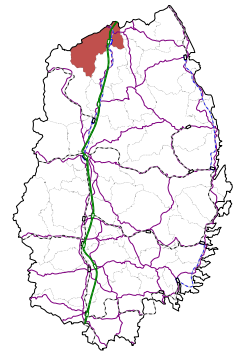
3 受賞歴等

平成11年度 食アメニティ・コンテスト 農林水産大臣賞

平成20年度 農山漁村女性チャレンジ活動表彰 優良賞

岩手県食の匠認定(組合員)

【岩手県二戸市】



いわて農業農村活性化推進ビジョン

平成 28 年 2 月

岩手県農林水産部

〒080-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1

農村計画課 電話 019-629-5666

農業振興課 電話 019-629-5647